

21. 第8-9回高木レクチャーについて

高木貞治先生の名を冠した講演会「高木レクチャー」は、世界から卓越した数学者を日本に招聘し、専門分野を越えた数学者や若手研究者・大学院生を主な対象とし、創造のインスピレーションを引き起こすような気概に満ちた研究総説講演を行っていただき、日本発の新たな数学の創造に寄与することを目的としています。高木レクチャーをもとにした研究総説は、査読を経て **Japanese Journal of Mathematics**

(JJM) に掲載されることになっています。

この趣旨に基づき「高木レクチャー」の創設が 2006 年 3 月 26 日 (日)、中央大学で開かれた日本数学会評議員会で承認され、2006 年 11 月に第 1 回高木レクチャーが京都大学数理解析研究所で開催されて以来、これまでに 8 回の高木レクチャーが開催されました。

この数学通信では第 8 回の報告と、第 9 回の予定をお知らせいたします。

第 8 回高木レクチャー (2010 年 11 月 23 日 (祝・火)、京都大学数理解析研究所) において、A. Connes (コレージュ・ド・フランス, IHÉS) : 「The adèle class space and the Riemann zeta function (アデール類空間とリーマン・ゼータ関数)」 「The Witt construction in characteristic one and quantization (標数 1 におけるヴィット構成と量子化)」, S. Gukov (カリフォルニア工科大学, マックスプランク数学研究所) : 「Quantization via mirror symmetry (ミラー対称性による量子化)」の講演が行われました。

当日には、予稿のブックレットが配布され、その最終版の研究総説は査読後、JJM に掲載される予定です。講演のビデオは東大数理 Video Archives プロジェクトチームにより撮影編集が行われ、web 上で一般公開しております (下記の高木レクチャーホームページをご覧ください)。

第 9 回高木レクチャー (予定)

日時: 2011 年 6 月 4 日 (土)

場所: 京都大学数理解析研究所

講演者:

Simon Brendle (スタンフォード大学) :

「Evolution equations in Riemannian geometry (リーマン幾何学における発展方程式)」,

Carlos E. Kenig (シカゴ大学) :

「Critical nonlinear dispersive equations: global existence, scattering, blow-up and universal profiles (臨界非線形分散型方程式: 大域存在, 散乱理論, 解の爆発と普遍漸近形)」

組織委員: 小野薫, 河東泰之, 小林俊行, 齋藤毅, 中島啓

主催: 日本数学会, 京都大学数理解析研究所

当日は、各講義の概要をブックレットにて配布する予定です。

高木レクチャーの HP

http://www.ms.u-tokyo.ac.jp/~toshi/takagi_jp/

で最新情報を掲載いたします。

なお、数学会会員は JJM の各冊子を会員割引価格 7500 円 (+税 375 円) で日本数学会事務局より購入することも可能です。

(小林俊行 記)